
第 56 報 平成 26 年 1 月 17 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 コンクリート用骨材 仙台 】

仙台のコンクリート用骨材は、m³ 当たり砕石 20～5mm が 3,900 円、砂・荒目（洗い）が 3,400 円といずれも前月比 300 円上伸した。生コン需要が昨年度よりさらに増加する中、メーカー側は製造時間を延長するなどして対応しているが、需給ひっ迫状況は解消していない。メーカー側は運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短期間で価格を改定するなど売り腰は強く、原材料の確保を優先する需要家側も値上げを受け入れざるを得ない状況にある。今後とも生コン需要は増大すると見られ、先行き、強含み横ばいの見通し。

【 アスファルト混合物 仙台 】

仙台地区のアスファルト混合物密粒度（13）は t 当たり 1 万 2,200 円と前月比 300 円上伸した。メーカー側は増大する需要に対し製品不足とならないよう骨材と運搬車両の確保に努めている状況。スト・アスや燃料費高を背景にメーカー側では値上げ交渉を継続したい構えだが、需要が減少傾向に転じていることもあり、需要家側の値上げ受け入れは厳しいとみられる。先行き、横ばい推移の見通し。

【 異形棒鋼 】

原料鉄屑の価格上昇は一服したものの、依然として高値圏を推移しており、メーカーは大幅に販売価格を引き上げた。引き合いが堅調に推移する中、材料手配を優先する需要家側が値上げの一部を受け入れたため、価格は上伸した。先行きの鉄屑相場に軟調気配が漂い、鉄筋市況の先高観は薄れているが、公共事業や民間建築向けの需要を背景に需給は引き締まっており、製販ともに強気の販売姿勢を維持している。当面、強含み推移の公算が大きい。

【 鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物工場の稼働状況について 】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	1月8日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 6月号	3,200円/m3上伸 2万1,250円	1月8日		ひっ迫	横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6700円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	1月8日		ひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	1月8日		ひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	1月8日		ひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	1月8日		ややひっ迫	横ばい
		亶理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	1月8日		ひっ迫	横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	1月8日		ひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	1月8日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2012年 11月号	1,000円/m3上伸 1万2,000円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	1月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 6月号	100円/m3上伸 3,500円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	1月8日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	1月8日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	1月8日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	1月8日	コンクリート用砂は、生コン需要が昨年度よりさらに増加している状況により、製造側では製造時間の延長などで対応しているが、需要量には追い付かず、ひっ迫した状況が続いている。また、運搬車両不足にもいまだに改善はみられない。こうした中、今後も生コン需要は増加する見通しであり、製造側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先とする需要家側も、値上げを一部受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	1月8日	各メーカーではプラント修繕によるコスト上昇や運搬コストの増大を背景に値上げを実施。震災復興工事向けの需要により、需給ひっ迫は解消されておらず売り手市場の中、値上げが需要家に浸透。先行き、強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	1月8日	各メーカーではプラント修繕によるコスト上昇や運搬コストの増大を背景に値上げを実施。震災復興工事向けの需要により、需給ひっ迫は解消されておらず売り手市場の中、値上げが需要家に浸透。先行き、強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	1月8日	各メーカーではプラント修繕によるコスト上昇や運搬コストの増大を背景に値上げを実施。震災復興工事を中心に好調な需要に支えられ、価格上伸。次年度以降、さらに需要は増加する見込みで、先行き、強含み横ばい。	ひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	1月8日	コンクリート用砂は、生コン需要が昨年度よりさらに増加している状況により、製造側では製造時間の延長などで対応しているものの、需要量には追い付かず、ひっ迫した状況が続いている。また、運搬車両不足にもいまだに改善はみられない。こうした中、一部自社製造にてコンクリート用砂を賄う生コン工場もあり、砂の需給ひっ迫を改善しようとする動きもみられる。今後も生コン需要は増加する見通しであり、製造側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先とする需要家側も、値上げを一部受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	1月8日	コンクリート用砂は、生コン需要が昨年度よりさらに増加している状況により、製造側では製造時間の延長などに対応しているものの、需要量には追いつかず、ひっ迫した状況が続いている。また、運搬車両不足にもいまだに改善はみられない。こうした中、今後も生コン需要は増加する見通しであり、製造側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先とする需要家側も、値上げを一部受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	1月8日	各メーカーではプラント修繕によるコスト上昇や運搬コストの増大を背景に値上げを実施。震災復興工事を中心に好調な需要に支えられ、価格上伸。次年度以降、さらに需要は増加する見込みで、先行き、強含み横ばい。	ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	1月8日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	1月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 単位:m3 (P170~) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,900円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	1月8日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	1月8日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	1月8日	コンクリート用砕石は、生コン需要が昨年度よりさらに増加している状況により、製造側では製造時間の延長などで対応しているが、需要量には追い付かず、ひっ迫した状況が続いている。また、運搬車両不足にもいまだに改善はみられない。こうした中、今後も生コン需要は増加する見通しであり、製造側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先とする需要家側も、値上げを一部受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	1月8日	コンクリート用砕石は、生コン需要が昨年度よりさらに増加している状況により、製造側では製造時間の延長などで対応しているが、需要量には追い付かず、ひっ迫した状況が続いている。また、運搬車両不足にもいまだに改善はみられない。こうした中、一部自社製造にてコンクリート用砕石を賄う生コン工場もあり、砕石の需給ひっ迫を改善しようとする動きもみられる。今後も生コン需要は増加する見通しであり、製造側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強い。原材料の確保を優先とする需要家側も、値上げを一部受け入れざるを得ない状況。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	1月8日	コンクリート用砕石は、生コン需要が昨年度よりさらに増加している状況により、製造側では製造時間の延長などで対応しているものの、需要量には追い付かず、ひっ迫した状況が続いている。また、運搬車両不足にもいまだに改善はみられない。こうした中、今後も生コン需要は増加する見通しであり、製造側では、運搬車両不足や製造体制強化に伴うコスト増を理由に、短い期間で価格改定を行うなど、その売り腰は依然として強く、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい		

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	1月8日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	1月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 3月号	100円/m3上伸 2,000円	1月8日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	1月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	1月8日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	1月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価 格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	1月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,800円	1月8日		ややひっ迫	強含み
		大船渡	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,000円	1月8日		均衡	強含み
		久慈	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,300円	1月8日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,100円	1月8日		均衡	強含み
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	1月8日	県内合材需要は、前年比で25%程度減少しているものの、震災前よりも高い水準で推移している。エリア別では、需要が一服した仙台以南エリア、変わらず需要旺盛な石巻エリア、今後本格的な需要が見込まれる気仙沼エリアなど差異がみられる状況。こうした中、増大する需要に対し製品不足とならないよう、各製造工場では原材料である骨材の確保と運搬車両の確保に注力。骨材については、同時に需要が増大している生コン用砕石との需要が競合しており、骨材を奪い合うような状況が続いている。運搬車両については、一部県外車両が地元に戻り始める状況にある中、県市町村発注の中小規模工事が多方面で行われ、工事箇所数への対応のための車両台数が必要とされており、製造工場側だけでは運搬まで対応できず、施工業者側での引き取り運搬にも改善はみられない。製造側では、昨年度からの値上げ未転嫁分のほか、上昇したスト・アスや燃料費などのコスト増分を今後も価格転嫁すべく、継続した値上げ交渉を展開していく構え。しかし、合材需要が減少傾向に転じていることもあり、需要家側の値上げ受け入れは厳しいとみられる。先行き、横ばい推移の見通し。	均衡	横ばい
		石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	1月8日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	1月8日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	1月8日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	1月8日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	1月8日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	1月8日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,300円	1月8日		均衡	強含み
		南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	1月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	1月14日	東北の震災復興需要に加え防災・減災関連の需要が全国的に増加しており、需給の引き締まりから納期には一部遅れがみられる。鋼矢板、鋼管杭ともに引き合いが強まる中、メーカー側が唱える値上げが段階的に浸透している。年度末に向けて、着工が遅れていた物件も含めて、需要は堅調に推移する見通しで、 メーカーは今後も強い販売姿勢を維持するとみられる 。先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	1月14日	原料である鉄屑価格の上昇は一服したが、依然として高値圏を推移しており、メーカーの悪化した収支は改善されていない。メーカーは大幅な販売価格の引き上げを表明し、末端価格の引き上げに注力。引き合いが堅調に推移する中、材料手配を優先する需要家側は値上げの一部を受け入れたため、価格は上伸した。 足元、鉄屑相場の先行きに軟調気配が漂う中、秋口から続いた鉄筋市況の先高観は薄れている。しかし、公共事業や民間建築向けの建設需要に下支えされ、需給は引き締まった状態の中、製販ともに強気な販売姿勢を維持している。当面、強含み推移の公算が大きい。	ややひっ迫	強含み
	セメント	72	セメント(バラ)	1月15日	メーカー側は東北地区を優先に供給を継続している。東京湾岸サービスステーションにおけるセメント貯蔵量は低下傾向となっている。そのため、一部のメーカーでは時間・曜日による出荷制限を余儀なくされている。 こうした背景からメーカー各社とも売り腰を強めており、メーカーでは可能な限り早い時期での値上げを浸透させたいとしており、需要家との交渉を継続している。先行き、需給のタイト化がさらに進む見通しから、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	1月10日	沿岸部における災害復興工事を中心にまとまった引き合いが多く、荷動きは活発化している。入荷量の絞り込みにより、在庫量は減少しており、特に塗装合板は払底状態になりつつある。販売側はこれまでの仕入れコスト上昇分を販売価格に転嫁すべく売り腰を強めており、価格も旺盛な受注を背景に上昇している。為替の影響により仕入れコストは上昇しており、当面、強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	1月10日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いがあり、需要は拡大している。価格は、原木価格の上昇に伴い、値上げ機運が高まっており、市場への浸透は近いもよう。目先、強含み推移の見通し。	ややひっ迫	強含み
		230 ～ 237	一般建築用 木材	1月10日	震災復興住宅向けや消費税増税前の駆け込み需要等から、職人不足の懸念もあるものの、荷動きは堅調。市況は、米材製品が円安や現地価格の上昇から強含んでおり、国内産もジリ高傾向となっている。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	250 ～ 252	石油製品	1月14日	12月第4週の元売各社の卸価格引き上げを受けて、流通側は末端価格への転嫁を目指しているが、足元、原油価格は下落しており、需要家側との価格交渉は難航している。先行き、横ばいで推移しよう。 JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は平成24年3月末までに稼働を再開。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻っている。	均衡	横ばい
	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	1月15日	公共事業の発注状況が例年に比べ好調なうえ、消費税増税前の駆け込み需要も旺盛で官需民需とも好調に推移している。リース材は東北地区を含め全国的にひっ迫しており、年度末までひっ迫した状況は継続する見通し。需給はひっ迫しているもののリース料金に変動はみられず、先行き、横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	266 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	1月14日	東北地区では防潮堤の築造、河川改修等での引き合いが中心。がれきの除去作業は収束に向かいつつあり、需給バランスは均衡している。機械の買い控えが目立つ中、市況は当面横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	1月14日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事の発注は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れている。需要のピークは3～4月と見られ、リース業者の稼働率は上昇を続けている。特に、鋼製覆工板、大型サイズの鋼製山留材を中心に需給はひっ迫している。また、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが出てきており、急な引き合いには対応出来ない可能性もある。母材となる鋼材価格が上昇しているため、リース業者各社は見積価格を引き上げており、安値受注は回避しているが、賃料上昇が浸透するにはまだ時間がかかる見通し。目先、横ばい。 【敷き鉄板】 東北地区は復興関連工事の大口需要により荷動きは好調。一部物件で供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、保有量が多い関東地区も、需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。需給が総じて引き締まった状況の中、各社、見積価格を引き上げており、安値受注は回避しているが、賃料上昇が浸透するにはまだ時間がかかる見通し。目先、横ばい。	ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	1月15日	<p>高速道路など震災復興の大型舗装工事がほぼ一段落したことから、東北地区における需要は前年に比べると縮小傾向ながら底堅く推移している。全国的には需給は均衡しており、アスファルトの供給に問題は生じていない。</p> <p>為替が円安に振れる一方、国際原油価格は年初から下落して推移しており、国内への原油調達コストは若干下押ししている。先行き、横ばいで推移する見通し。</p>	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	1月10日	<p>メーカーはフル生産の体制を続けているが、ハウスメーカーやプレカット向けの出荷が旺盛で、受注残をこなさきれていない。トラック不足の要因も重なり、長尺物を中心に入荷が遅れている。消費税増税前の駆け込み需要がピークになりつつあり、先行き、強含みで推移する見通し。</p>	ひっ迫	強含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	1月14日	<p>東北地区は復興関連需要を中心に荷動きは堅調ながら、他地区を凌駕するほどでは無く、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。</p>	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	1月14日	<p>官需では下水道関連に加え一部で公営住宅等建築関連の荷動き、民需では消費税増税前の住宅着工案件があるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先の見込み。メーカー側は原料価格上昇を理由に値上げを打ち出しているが、実需の盛り上がりには乏しく末端まで浸透していない。</p> <p>供給体制そのものに問題はみられない。</p>	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	1月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事の連続的な発注により、切れ間なく最盛期の状態が続いている。鉄筋工の慢性的な労務不足は、解消の兆しはなく、ゼネコンでは一度雇用した職人を他社案件に行かせないよう、工事が完了しても留め置いているもよう。 専門工事業者側では、これまで長年にわたって下落してきた単価を、社会保険未加入分も含めて本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を弛める姿勢はない。今後、大型案件の施工も本格化することで、さらなる需給ひっ迫状態も見込まれ、強基調で推移しよう。	ひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	426 ~ 429	1月11日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き多くの復旧・復興関連工事が進められている。年度末を控え、新規発注工事と内陸部の建築および土木工事が増加したこともあり、労務不足の解消の兆しは見られない。 一部工事では前年度から続く工期延長、設計労務単価上昇などの要因が重なり、工事費相場は専門工事業者優位で堅調に推移している。このような状況は当面解消されそうもなく、強含み相場が続く見込み。	ややひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	434 ~ 437	1月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、引き続き多くの工事が施工されている。加えて、国、自治体の年度末に向けての新規発注も重なり各社とも工事量は十分確保されており、一部では不調がみられる状況。そうした状況の中、型枠工は慢性的に労務不足となっており、労働者および型枠材のひっ迫した調達状況は解消されそうにない。 施工業者側は型枠および労働者確保を優先せざるを得ない状況であることから、相場形成は専門工事業者主導となっており、先行き、型枠工事相場は強含みでの推移となりそう。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	1月10日	被害のあった沿岸部では、物流倉庫や水産加工場などの物件が継続的にみられる。また、内陸部では、庁舎やオフィスビル、復興公営住宅の新設工事などの需要が堅調に推移している。この状況下、地元の専門工事業者だけでは、現状の工事を消化しきれず、隣県などからの協力体制が見られ、 新規受注が出来ない様子 。このため総合工事業者側では、現場に必要な職人確保に苦慮しており、工程の遅れの現場も出てきている。当面、このような職人の不足感が解消される見込みはなく、引き続き、強含み推移。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	1月10日	沿岸地域を中心に、病院や学校の耐震改修工事、公営住宅の新設工事等が本格化していることに加え、住居・オフィスビルの需要が増大している。 全国的に型枠工不足は鮮明化しており、総合工事業者は専門工事業者側の職人調達コスト上昇分の値上げを受容し、職人確保を優先する姿勢を見せている。労務需給のタイト感はしばらく続くと見られ、引き続き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み